

コンパクトクールキット 取扱説明書

(ステアリングシステム下マウント)

適応車種	モンキー (FI) (AB27-1900001 ~) 弊社製オイル取り出しボス付きシリンダー装着車	適応条件	弊社Φ 27 正立フロントフォーク装着車 弊社Φ 30 正立フロントフォーク装着車
------	--	------	--

◎スリムラインホース	
対象シリンダー 弊社製オイル取り出しボス付きシリンダー オイルクーラー本体固定場所 ステアリングシステム下マウント	
製品番号	07-07-0415 (4フィン) 07-07-0416 (3フィン)

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。

使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。

万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。

◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

◎当製品は、上記適応車種の車両専用です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。

◎製品には、エッジや突起がある場合があります。必ず作業手袋を着用し作業を行って下さい。

(説明書内で作業手袋未着用の写真がある場合でも、作業時は作業手袋等を着用して下さい。)

◎アルマイト製品は経年変化等により、色褪せる事があります。予めご了承下さい。

◎オイル量は通常規定オイル量に4フィン：約60cc / 3フィン：約40cc 追加して下さい。

◎弊社製ステアリングダンパーとの同時装着が出来ません。

◎弊社製倒立フロントフォークには取り付け出来ません。

◎ダイカストスペシャルクラッチカバーが組み付けされている車両で、シリンダーからオイル取り出しする場合はダイカストスペシャルクラッチカバーにはオイルホールプラグ及びサーモユニットを取り付けしないで下さい。何れかを取り付けた状態で、エンジンを始動した場合オイル通路が遮断され、エンジンを破損する可能性があります。

◎弊社製スーパーオイルポンプキットのラインナップが有る車両に関しましては同時装着を推奨します。

～特徴～

冷却効果に優れたコンパクトクールを取り付ける事で、エンジンポアアップに伴う油温上昇を抑える事が出来ます。

コンパクトクール本体は、オイルクーラープレート、ガードを標準装備。

付属のオイルクーラーステーを使用し、ステアリングシステム下マウントでオイルクーラー本体を固定します。

クーラー本体は3フィン4オイルラインと、4フィン5オイルラインの2種類からお選び頂けます。

オイルクーラーへのオイル取り出しは、弊社製オイル取り出しボス付きポアアップシリンダーから取り出します。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

■一般公道では、法定速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。

(法定速度を超える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)

■作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジン及びマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)

■作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)

■規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。)

■製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、作業手袋等を着用し手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)

■走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。(部品の脱落の原因となります。)

■ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。又、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。

■走行前には必ずエンジンオイルが循環している事を確認してから走行して下さい。(エンジン損傷の原因となります。)

警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

■エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。

(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)

■走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)

■作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)

■点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。

(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)

■点検、整備等を行った際、損傷部品が見つかったら、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。(事故につながる恐れがあります。)

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。

但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。

◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいませます様お願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東3-5-16

TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>

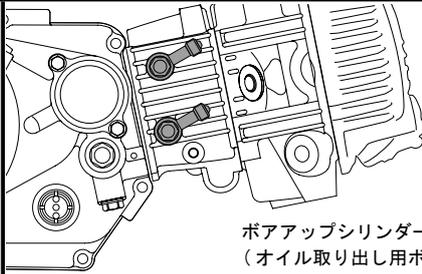
製品内容：部品の詳細は各キットの説明書、及び製品ラベルでご確認下さい。

オイルクーラー取付け場所：フレーム下マウント

製品名 / キット品番

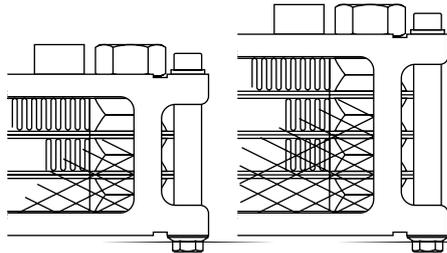
コンパクトクールキット (スリムラインホース)
 (ボアアップシリンダー
 (オイル取り出し用ボス付) 装着車両)
 4フィン 07-07-0415 3フィン 07-07-0416

オイル取り出し口



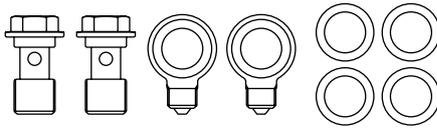
ボアアップシリンダー
 (オイル取り出し用ボス付)

オイルクーラー本体



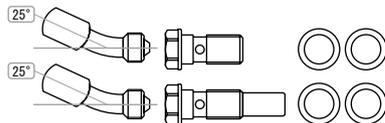
コンパクトクール コンパクトクール
 3フィン (00-07-0124) 4フィン (00-07-0104)

バンジョー
 フィッティング
 (オイルクーラー側)



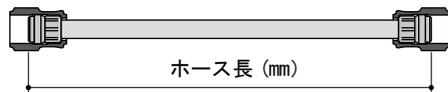
バンジョーセット
 (M12/スリムライン用) (00-07-0135)

バンジョー
 フィッティング
 (取り出し口側)



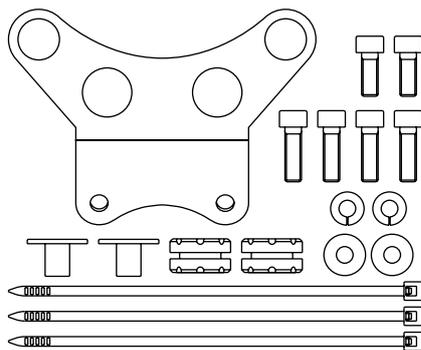
フィッティングセット
 (M10/スリムライン用) (00-07-0128)

ホース (ホース長)



スリムラインホース 505mm (00-07-0118)
 スリムラインホース 505mm (00-07-0118)

ステーセット

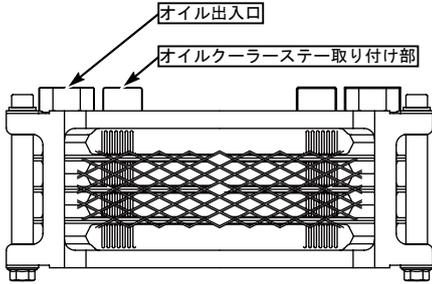


オイルクーラーステーキット (00-07-0213)

■対象製品 コンパクトクールキット ステアリングシステム下マウント

■オイルクーラー本体
オイル出入口の方向と組み付け

■オイルクーラーのオイル出入口の方向を確認
下図のようにオイルクーラーステー取り付け部
とオイル出入口が上になっているか確認しま
す。(弊社出荷時は下図の様になっています)



■バンジョー、バンジョーボルトの組み付け
オイルクーラー本体のオイル出入口に下図Aの
順(シーリングワッシャ、バンジョー、シーリ
ングワッシャ、バンジョーボルト)で仮止めし
ます。

⚠注意 オイル出入口にはズレ防止用の溝がありま
す。(下図B) この溝にシーリングワッシャ
を確実に収めて下さい。
溝に収めていない状態で、組み付けるとオ
イル漏れの原因となります。

図 A

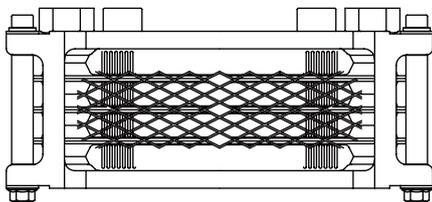
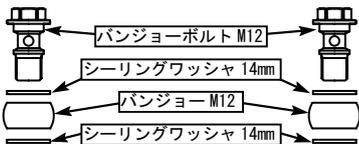
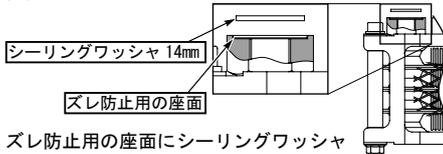


図 B (座面断面図)



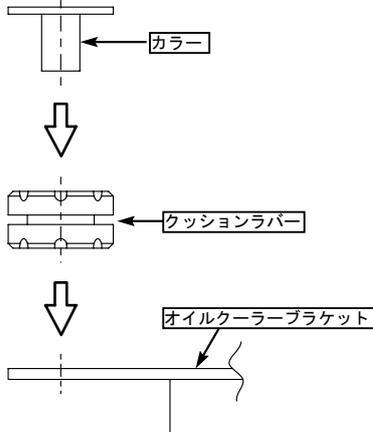
ズレ防止用の座面にシーリングワッシャ
を確実に収める

■バンジョーボルトのトルク締めについて
オイル取り出し口とホースを接続し、ホースの
取り回し確定後に規定トルク締めを行います。
バンジョーボルト締め付け時は、必ずオイルクー
ラーヘッダーにスパナ等を掛けて締め付けて下
さい。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
バンジョーボルト M12
トルク：22.5N・m (2.3kgf・m)

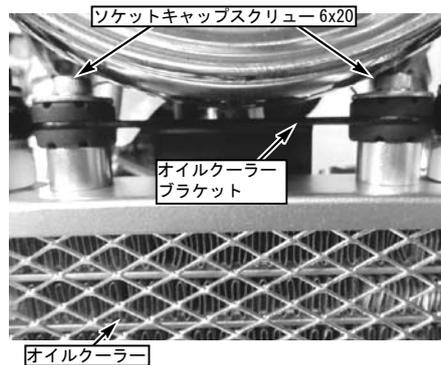
■オイルクーラーステーとオイルクーラー本体の組み付け

- 平坦で足場のしっかりした場所で車両を安定
させます。
- オイルクーラーブラケットにクッションラバー
を取り付け、クッションラバーにカラーを取り
付けます。



- ソケットキャップスクリュー 6x20 を用いて
オイルクーラーブラケットにオイルクーラーを
取り付け締め付けます。

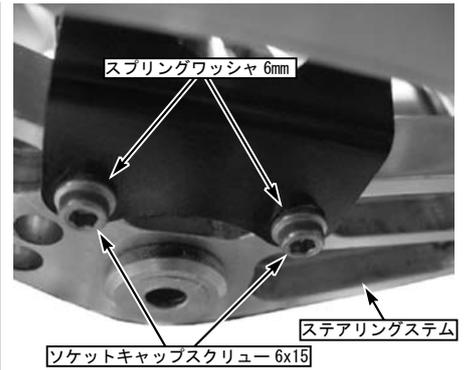
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
ソケットキャップスクリュー
トルク：8N・m (0.8kgf・m)



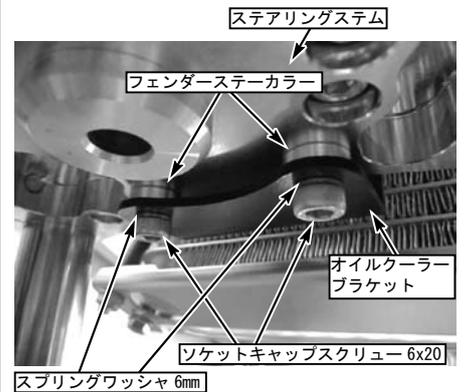
- ステアリングシステムにオイルクーラーブラケット
をスプリングワッシャ 6mm、ソケットキャッ
プスクリュー 6x15 を用いて取り付け締め付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
ソケットキャップスクリュー
トルク：12N・m (1.2kgf・m)

※弊社製ヘッドライトステーφ 27用(取り付
け幅 155mm)又はφ 30用(取り付け幅 155mm)
と2連タイプのスピード&タコメーター及び
スーパーマルチ M1 ステー同時装着時、ヘッ
ドライトとソケットキャップスクリュー 6x20
が干渉する為、ステアリングシステムとオイル
クーラーブラケットの間にフェンダーステー
カラーを挟み、ソケットキャップスクリュー
6x20、スプリングワッシャ 6mm を用いて取り
付けます。



★ヘッドライトステー取り付け時



- オイルホースを取り回しオイルクーラーと
接続します。
(各専用のキットの取扱説明書の指示に従い
作業を行って下さい。)

※バンジョーボルトの締め付けは、オイルクー
ラーヘッダー(6角部分)に必ずスパナ等を
かけた状態でバンジョー M12 を動かない様
固定して行って下さい。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
バンジョーボルト M12
トルク：22.5N・m (2.3kgf・m)



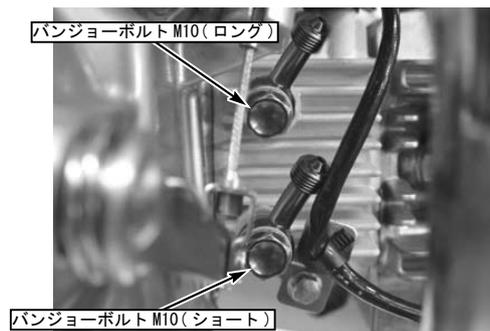
■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

■対象製品 コンパクトツールキット（スリムラインホース） 4フィン 07-07-0415 3フィン 07-07-0416

■シリンダーにバンジョー/フィッティングの組み付け

■シリンダーサイドにあるオイルプラグ2個を取り外します。
シリンダー下にオイル受け皿を設け、オイルプラグボルト2本を取り外します。
※ボルトを取り外した際、オイルが漏れ出す可能性があります。

■シリンダーにバンジョー/フィッティングの組み付け
写真を参考にし、バンジョーM10(25°)をシーリングワッシャ10mmで挟みバンジョーボルトM10(ショート/ロング)指定箇所に締め付けます。
※ホース等の取り回しを決めた後にバンジョーボルトM10を規定トルクで締め込みます。
※アップマフラーが装着されている場合はマフラーを、取り外し作業を行って下さい。



▲注意：必ず規定トルクを守る事。
バンジョーボルトM10(ショート/ロング)
トルク：15N・m (1.5kgf・m)

▲シーリングワッシャは、分解毎に必ず新品に交換して下さい。
注意 (再使用した場合、オイル漏れ等によるトラブルの原因となります。)

■スリムラインホースの組み付け

■オイルクーラー本体とオイル取り出し口をスリムラインホースで接続します。

■シリンダー側
バンジョーM10(25°)にオイルホース505mmを取り付け締め付けます。

■オイルクーラー側
バンジョーM12にオイルホース505mmをオイルクーラー左右共に、取り付け締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
スリムラインホース(フィッティング)
トルク：6N・m (0.6kgf・m)

バンジョーM12の向きを調整し、バンジョーM12x1.0を締め付けます。
バンジョーボルト締め付け時は、必ずオイルクーラーヘッダーにスパナ等を掛けて締め付けて下さい。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
バンジョーボルトM12
トルク：22.5N・m (2.3kgf・m)

ホースを束ねる必要がある場合は、付属の結束バンドをご使用下さい。
■各部のチェックとヘッドライトユニットとマフラーの取り付け
ヘッドライトユニットとマフラーの取り扱い説明書に従い取り付けを行って下さい。

■オイル量の調整とエンジン始動
4フィンは60cc、3フィンは40cc程度エンジンオイルを追加し、エンジンを始動します。
各部にオイル漏れが無い事を確認しエンジンを止め、約1分後オイルレベルゲージで基準範囲内にあるかを確認します。少ない場合は補充します。

オイルホールプラグ及びサーモユニットについての注意点

▲注意：スペシャルクラッチカバーが組み付けられている車両で、ヘッドサイドカバー取り出し口にオイルホースを取り付ける場合は、スペシャルクラッチカバーにはオイルホールプラグ及びサーモユニットを取り付けないで下さい。
何れかを取り付けた状態で、エンジンを始動した場合オイル通路が遮断され、エンジンを破損する可能性があります。

©この取扱説明書は弊社ホームページにPDFデータでアップしております。
印刷では表記が読みにくい等ございましたら弊社ホームページにてダウンロードしご確認ください。

